

令和6年度公民館運営審議会（第2回）会議録

会 議 録

会議の名称	令和6年度公民館運営審議会（第2回）		
開催日時	令和7年3月13日（金） 午後2時～午後4時		
開催場所	座間市公民館2階会議室		
出席者	・座間市公民館 那須宏委員、清水紀代美委員、鈴木文子委員 ・北地区文化センター 木村由紀子委員、赤木みな子副委員長、中澤孝子委員 ・東地区文化センター 佐々木邦彦委員長、松岡たみ子委員、鍛冶山恵子委員		
事務局	教育部 生涯学習課 座間市公民館 渋谷館長 北地区文化センター 林館長 東地区文化センター 本山主査		
会議の公開可否	■公開 □一部公開 □非公開	傍聴者数	0人
非公開又は一部公開とした理由			
議題	1 公民館事業評価報告 2 意見交換会 3 その他 連絡事項		
資料の名称	1 令和6年度座間市公民館事業評価シート（座間市公民館） 2 令和6年度座間市公民館事業評価シート（北地区文化センター）		
会議の結果			
議題1	1 公民館事業評価報告 座間市公民館、北地区文化センターの順に事業評価結果を報告した後、質疑応答を行った 東地区文化センターは、事業評価該当事業が終了した直後のため、次年度初回審議会にて報告予定		
議題2	2 意見交換会		
議題3	3 その他		

議事の概要（又は詳細）	
（議題1）	公民館事業評価報告 （座間市公民館）
事務局	公民館事業「パパと遊ぼう」事業評価内容について資料に沿って説明
木村委員	講師はどのような方を呼ばれたのか。
那須委員	厚木で幼稚園副園長をされている方を招いた。
佐々木委員長	講師の方はどのような仕事をされたか。
清水委員	10個メニューがあり、そのメニューに合わせた道具を使った遊びをしてくださった。体に良い運動を取り入れたもので、こなれているからか無駄のないものだった。
赤木委員	時間はどの程度されたのか。
清水委員	1時間と少しだった。
佐々木委員長	お父さんが主役と言うことは良い試みだと思う。 参加された子どもの反応はどうだったか。
那須委員	父と普段動いていないが、一緒に動けたことで楽しそうに活動していた。
佐々木委員長	この経験を活かして、家庭の中で役割を発揮して欲しい。
清水委員	今のお父さんは普段から子どもと一緒に活動をしており、自分が子育てした頃とは違う。
鈴木委員	今の男性は料理もできなければならない。
事務局	（北地区文化センター） 当初予定していた「子育てわくわく学級」から対象事業を「親子で壁新聞を作ろう」に変更したことを踏まえ、事業評価資料について説明
佐々木委員長	目的とねらいは、新聞購読の減少に対し、壁新聞を作ることにより、最終的には新聞を読むことの大切さを感じることに繋がったのか。
事務局	1回目では新聞そのもののほか、調べることの大切さを学んだ。 また、対象年齢とした小学4～6年生は親子で共に活動することが減っている年代であり、絆作りにも繋がった。講師である厚木高校に興味が出た児童がいた。厚木高校では、校内新聞にも今回の実績を記事にされた。多方面に影響があった。
佐々木委員長	受講生が新聞受講を新たに希望する成果が出ればより事業の達成と言えると思う。
松岡委員	

令和6年度公民館運営審議会（第2回）会議録

事務局	実際に参加したが、講師の教え方が上手だった。親子で作る姿がととてもよかった。高校生にとっても良い経験になったと感じた。自分の表現したいことをこの様な形にして表現することが大切だと思う。 講座終了後、館内に作品を貼り出した。文化祭があればそこにも貼り出すなど活用方法を見出したい。
佐々木委員長	なお、東地区文化センターは、当初の予定を変更し、北と東と共催して開催した事業を採択したが、講座終了したばかりであるため次年度第1回目に報告予定。
事務局	2館が協力して事業を行ったと言うことは大変素晴らしいことである。今後も3公民館が意見交換をし、事業を行うことは大切なことだと思う。
(議題2)	公民館まつりなども協力してやっていきたいと考えている。
事務局	意見交換会
佐々木委員長	他市の公民館まつりを見学してきた。それぞれ工夫があり、近隣の幼稚園や小学校の幼児・児童の作品を展示しているものがあった。 空きスペース等を活用して掲示できるように工夫していきたいと考えている。
松岡	大学生以上の若者が公民館に足を運ぶことが課題であると感じる。他の公民館での成功例などがあれば参考にしたいと思う。 あすなろ大学でもこの点について話し合ったことがある。そう言った良い企画が何かないか、模索して欲しい。
事務局	本日、子どもを預かりながらスマホで写真を撮る講座をやったが、保育に男性の参加者が1人いた。男性が入ることは今までにないことで、とても良いことだと思った。
松岡	公民館にも保育に1人男性が入っているが、安心感がある様で、人気だった。
佐々木委員長	東地区には災害時に子ども達を乗せてあげられる柵付きの台車が以前はあったが、そういったものがあった方が良いと思う。
事務局	若い人を文化祭の実行委員会に積極的に入れて行った方が良いと思う。経験してもらうことで考えてもらうきっかけになると思う。 中学生をおまつりにボランティアスタッフとして動員した。他県で、まつりの実行委員会の半数以上が中学生と言う事例があった。北地区では、相模原市の新磯公民館子ども達の組織を作り、公民館事業を活用し

令和6年度公民館運営審議会（第2回）会議録

赤木委員	ている事例があり、今後北地区では同様の取り組みをしたいと思っている。そのままジュニアリーダーになってもらうように繋げる、など、子どもの力を活用する方向に持っていきたいと考えている。
松岡委員	災害時に中学生の力を活用できるようになればすごく良いと思う。
那須委員	東ではサマーアイランドで以前から小学4年生以上で子ども実行委員会を募集し、大人がサポーターになっている。お化け屋敷などもやっていた。今年度もお店の手伝いなどやっていた。来場した子ども達もその活動を見て興味を持つし、来やすくなると思う。
松岡委員	お化け屋敷は大人よりも子どもたちで企画した方が盛り上がると思う。
事務局	以前は中学校にボランティア部があったが、無くなってきている。相模中には学校の方針として生徒にボランティアをさせたいとしている。
赤木委員	子ども達自身にとっても良い経験になると思う。相手のことを考えてあげられる力を育てることが必要だと思う。
佐々木委員長	公民館と学校の関係はとても大切なことだと思う。不登校の子どもたちの居場所作りなどについても教育関係者たちとの意見交換が必要ではないか。
事務局	居場所作りは教育部として課題となっており、小学生の不登校が増えている現状がある。完全な不登校でない子の居場所確保も必要である。社会教育施設が如何に活用できるか、教育部の中で生涯学習課がどのように関わっていくか皆さんの意見を聞き取りつつ考えて行きたい。
佐々木委員長	居場所の提供は公民館ができるが、教育は誰が行うか、学校教育と連携しなければならないなど、必要となる部署がまたがるが多いため、生涯学習課が連携を作って欲しい。
松岡委員	最近公運審の研修が無くなってしまった。行けなくても、ビデオで見る等代替する研修をして行かなければ、新しい方が育たないと思う。
事務局	Zoom等で参加できる研修であれば現地に行かずとも参加できるので、そういったものを紹介できると良いと思う。県から案内があれば、皆さんにも提供できないか検討したいと思う。実際に今年度研修に参加してみたが、大変刺激を受けた。新たなやり方等を共有していきたいと思う。
佐々木委員長	公民館の運営は、公民館運営審議会だけで考えて行くものではなく、学校教育等とも関連して行っていかなければならないので、生涯学習課

令和6年度公民館運営審議会（第2回）会議録

事務局	で調整して行って欲しい。
佐々木委員長	善処したい。総合計画、教育大綱、生涯学習プランにそれぞれ課題があり、この課題に向けて事業を進めており、何を目的に進んでいるのかわからないと不透明になってしまうので皆さんにも共有して行きたい。 不登校の件では、以前あすなろ大学でサポートを企画し、宿題のサポート等をしてみようと言う意見がでたが、学校と連携しなければ、何をしたら良いのか分からない。そういった調整を生涯学習課でしていただきたい。
事務局	北地区では、多国籍の子ども達が訪れている。日本語があまり得意ではない子ども達や家族とのコミュニケーションが困難であり、学校に聞き取らなければならない場面があった。そこには館が間に入って調整した実績があり、繋いだ後はフリースペースの担当者に任せた。信頼を得るまでは、フリースペース単体では学校との連携は困難なので、間に入ることは必要である。皆さんにも活動を見ていただけると良いかと思う。 相模原市では、高校生が講師になって夏休みの宿題サポートを行った実績がある。そういった良い実績を参考に事業を計画していきたいと思う。
(議題3)	その他連絡事項
木村副委員長	図書館協議会について報告
事務局	北地区館長は社会教育主事講習を受講し、近日中に社会教育主事として発令される予定。社会教育主事が各館に1人ずつ、計3人いることになる。 また、コミスクの関係から学校との連携が必要であるが、委員の皆さんには学校公開日に学校を見ていただくことでより地域の現状を確認していただける機会になると思う。今後の事業計画にも必要な事だと思うので、是非見学して行っていただきたい。
赤木委員	公民館まつりの日程はいつになるか。
事務局	5月23日～25日になる予定。
閉会	次回は次年度の事業計画について確認していただき、事業評価対象を決定することになる予定。